

# 令和 5年度予算見積調書

課室名：河川環境課  
 担当名：河川環境担当  
 内線：5112

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P53	川の再生推進費			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	川の再生推進費	
事業期間	令和3年度～令和12年度	根拠法令	河川法第9条第2項			針路	10 豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	11, 15, 17
						分野施策	1002 恵み豊かな川との共生	SDGsターゲット	11-5, 15-1, 17-17
1 事業概要 埼玉版SDGsは、「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」を重点テーマの1つに掲げ、豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉の実現を目指している。 河川は、洪水から生命や財産を守る治水機能、生活に必要な水の確保などの利水機能を担うだけでなく、河川の持つ自然や水辺空間は生物の生息・育成環境や人々の豊かでゆとりのある生活環境を提供している。 そこで、民間事業者等とも連携し、環境、社会、経済の三側面から「豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉」の実現に向けて川の再生を実施する。  川の再生推進費 604,917千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 民間事業者等と連携した水辺空間の利活用 454,917千円 [水辺deベンチャーチャレンジ] 企業や観光協会などと連携して民間のアイデアやノウハウを活用した新たな水辺空間の利活用を推進するため施設整備を実施する。 イ 自然や生物、景観に配慮した河川整備 80,000千円 護岸の修繕に合わせて、生物の生息に配慮した水際の整備を行い、地域に親しまれる水辺空間づくりを推進する。 ウ 地域活動と連携した河川の浚渫等 70,000千円 河川や調節池において、住民等による積極的な美化活動と連携して、土砂やごみ等の撤去を実施する。  (2) 事業計画 ア 民間事業者等と連携した水辺空間の利活用 市町村から民間事業者等と連携して実施する取組を公募し、利用調整協議会で利活用や維持管理、施設整備計画を検討、計画が具体化した箇所から整備を実施する。 イ 自然や生物、景観に配慮した河川整備 親水施設などの整備を行い、生物調査や環境学習を行いやすくする。 ウ 地域活動と連携した河川の浚渫等 地域の美化活動と土砂の撤去を連携して行い、川全体をきれいにする。  (3) 事業効果 地域住民が地域の川を誇りに思う「シビックプライド」の意識が醸成され、継続的な活動が実現する。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 県単独河川改修事業債 充当率 90% 交付税措置なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 事業に係る人件費 9,500千円×6人=57,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		寄附金	県債						
決定額	604,917	100	530,000					74,817	134,917
前年額	470,000		390,000					80,000	

## 事業内訳書

事業名	川の再生推進費		
単位事業名	川の再生推進費	予算額	604,917千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	1,111	1,111	水辺deベンチャーチャレンジに関する旅費
需用費	1,088	1,088	水辺deベンチャーチャレンジに関する消耗品費等
役務費	1,517	1,517	水辺deベンチャーチャレンジに関する通信運搬費等
委託料	130,950	950	水辺deベンチャーチャレンジ 110,950千円 自然や生物、景観に配慮した河川整備 20,000千円
使用料及び賃借料	251	251	水辺deベンチャーチャレンジに関する用地借地料等
工事請負費	470,000	130,000	水辺deベンチャーチャレンジ 340,000千円 自然や生物、景観に配慮した河川整備 60,000千円 地域活動と連携した河川の浚渫等 70,000千円
合計	604,917	134,917	